

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ意見まとめ

地区	形原地区	回数	第4回
日時	2022年12月25日(日) 13:30-16:30		
参加者数	23名		

1. 評価表について

1) 評価全般

施設の集約と分散で評価が相反するものになっており、評価における考え方が難しい。

- ・評価項目について、施設を“集約”することで得られる利便性の評価と施設を“分散”することで得られる選択肢の多さの評価が相反するものになっており、評価の視点の考え方が難しい。

2) 視点ごとの評価項目

① 多様な人々との交流

<全般>

多様な人々との交流がすべての人に望まれているか分からないが、基本的に交流を深める方向性がよいらろう。

- ・(長野の公園廃止の例より) 地域における多様な人々との交流がすべての人に望まれているかどうかはわからないが、基本的に交流を深めていく方向性で考えていくことが必要。

イ 若者・外国人などが利用しやすい施設配置となっているか。

公民館が隣接しているだけで利用しやすいとは判断できない。ソフト面での仕掛けが必要だろう。

- ・公民館と他の施設が隣接しているというだけで若者や外国人が利用しやすいとは判断できないのではないだろうか。
- ・近くても目的がなければ訪れることはない。ソフト面での仕掛けが必要になるだろう。

② 子育てしやすい環境づくり

カ 校庭・園庭の広さは確保されているか。

設計後のイメージがない状態では適切な判断が難しい。

- ・B、B1、C、C1 案に対して△という評価がついているが、設計のイメージがつかない状態では適切な判断が出来るのだろうか。グラウンドの面積などだけで判断ができるのか。

校舎が高層化することで、園児・児童・生徒に窮屈感を与えないだろうか。

- ・校舎が高層化するなどすると園児・児童・生徒に窮屈感を与えないだろうか。

現在の形原小の敷地だけで評価をしているので、評価が低くなっている。敷地を広げることを前提、あるいは可能性を評価に反映するべきだと思う。

- ・B1案が最も良いと思うが、形原小の敷地のみを前提にしているため評価点が低い。敷地を広げる方向での案を前提にするべきではないか。せめて、その可能性を評価点に反映するべきと思う。(評価項目カ・タ・ツ・テに共通)

③ 子ども達の居場所づくり

キ 異年齢の子ども達が交流しやすい施設配置となっているか。

地域活動において中学生が小さい子を見てくれることがある。このような異年齢の交流に期待したい。

- ・地域活動をしていると中学生が小さい子を良くみてる面があるので、異年齢交流には期待できる。

異年齢の交流は良い面と悪い面がある。

- ・異年齢の交流は良い面と悪い面があるので、しっかり配慮していただきたい。

保育園と中学校では年齢差がありすぎるのが心配だ。

- ・異年齢の交流は、園児同士の交流ならばわかるが、保育園と中学校など年齢差がありすぎるのは心配である。

敷地によっては、時間帯でボール遊びの時間を分けるなど運用面の工夫が必要。

- ・狭い敷地でも、時間によってボール遊びの時間を分けるなどの運用面の工夫が必要。
- ・敷地の配置の工夫で、異年齢の交流は可能。長放課を「御嶽タイム」と呼んでいるが、もともとは、御嶽神社の敷地で遊んでよい時間のことであった。

ク 子ども達の居場所に選択肢があるか。

現状で子どもは公民館を利用していない。公民館と児童館の複合で施設数は減るが、利用が促進されるならC、C1案は△ではなく○ではないか。

- ・現在子どもが公民館を居場所としている状況はあまりない。今後複合して利用促進されること、一方で選択肢として数が減ることも考えるとC、C1については△ではなく○ではないだろうか。

ケ 教育環境への影響はないか

C、C1、D 案は形原小と形原中が複合するが、同一敷地でも独立している（一貫教育ではない）なら、形原北小の中学からの合流も影響はないと思う。

- ・ C、C1、D 案について、形原中敷地に形原小も設置される場合に、形原北小の子供が途中から合流することで△の評価だが、小学校と中学校が別であれば場所の問題は関係ないと思う。形原中3年生へのアンケート結果もあるが、聞き方次第で結果は大きく左右される。C、C1、D 案は敷地が一緒というだけで小中一貫の教育プログラムまで前提とはしていないと考えている。

④ 地域の活性化

コ 地域への愛着を育み、地域の伝統継承や担い手の育成に寄与するか。

中学の部活動廃止後、公民館で部活動の補完ができるかよい。

- ・ 中学校で部活がなくなってしまった分、公民館活動で地域の人が水墨画を教えるなど、クラブ活動の補完のようなことができると良い。

⑥ 安全・安心

セ 災害時に被災しにくい施設配置となっているか。

「被災のしにくさ」は海拔以外の条件も考慮しているのか。

- ・ 被災しにくいというのは海拔以外の条件も考慮にはいつているか？

公民館は高潮浸水想定区域にあるが、立地の安全性は建設時に検討できたのではないか。

- ・ 公民館は高潮浸水区域にあるが、立地の安全性については建設時に検討できたのではないか。
- ・ シミュレーションや安全性の基準は時代が変わると変わるし、現在の公民館は東日本大震災前に建設されたので、当時は危険認識がなかったのかもしれない。

公民館は避難所など公民館としての機能について評価をすればよいのではないか。

- ・ 公民館は災害時の避難所など公民館としての機能があるので、その機能について評価をすればよいのではないだろうか。

ソ 災害時に避難しやすい施設配置となっているか。

「避難のしやすさ」を施設配置でどのように評価しているのか。

- ・ 施設配置による「避難しにくい」「避難しやすい」はどのように判断できるのか。

避難先が減ることは、とても心配である。

- ・ 避難先が減ることはとても心配である。

C案は△になっているが、形原小の場所に公民館が移転し、避難所として機能するならば施設総数としては変更なし（○）で良いのではないか。

- ・C案が△となっているが、形原小学校の場所に公民館が移転し、安全な避難所が確保されるのであれば、総数としては変更なしなので○で良いのではないか。

タ 交通安全に配慮された施設配置となっているか。

学校周辺の交通環境の整備・改善が重要である。

- ・周辺の交通環境の整備・改善が重要。中学校と保育園の間の一方通行、形原北小の一方通行については、日常的にも危ないし、災害時には特に危険になる。

2. 再配置案について

<全般>

文化広場など全市利用型施設も配置プランに盛り込めば、更に柔軟な配置検討ができるのではないか。

- ・市の全体施設（例：文化広場）や今回の対象敷地以外での具体的な代替地（対象敷地周辺の公共用地等）を配置プランに組み込むことが出来ればもっと柔軟な配置検討ができるのではないか。

<公民館>

公民館は建設して15年であり、早期の建て替えはもったいないため今の場所でよい。高潮については避難の時間も十分にあると思う。

- ・公民館は現在の位置で良い。（A, B, D案）
→公民館は建設してまだ15年程度しか経過しておらず、早期の建替えはもったいないので現状の位置で良いのではないか。高潮の浸水被害については避難できる時間も十分にあると思う。

公民館は地域の情報発信の場のため、安全な場所に移転したほうがよい。

- ・公民館は別の場所に移転した方がよい。（B1, C, C1案）
→公民館は地域における情報発信の場でもあり、安全な場所にあるべき。

C1案は、公民館が北寄りに配置されているため、地域内のバランスを考えて配置したほうがよい。

- ・C1案は公民館の位置が北寄りに配置されるため現実的ではない。地域の情報発信の役割も持つ公民館は地域内のバランスを考えて配置した方がよい。

公民館移転の場合、跡地利用をしっかりと考えたい。

- ・公民館移転後の有効利用については、しっかりと考えたい。

公民館移転の場合は、広い駐車場などに有効活用してほしい。

- ・公民館移転の場合は跡地については広い駐車場などに有効利用してほしい。

文化広場も公民館活動と一体的に考えていきたい。

- ・地区の中では文化広場の利用もあり、今回の対象でなくとも、配置等には大いに関係があるのではないだろうか。公民館活動と一体的に考えていきたい。
- ・文化広場にも公民館機能を持たせるなどの協力関係をつくってほしい。

<児童館>

児童館は子どもや保護者にとって利用しやすい場所にあるため今の場所でもよい。

- ・児童館は双太山公園に隣接していて、子どもや保護者にとって良い場所にある。特段移動させる理由がないのではないか。

低年齢児の場合、児童館は保護者が送迎して利用するので、立地による利便性の問題は生じないだろう。

- ・低年齢児は保護者が送迎して利用する施設だと思うので、どこにあると便利かという利便性の問題は大きな影響を受けない（評価対象にならない）のではないか。

<小学校と中学校の複合化>

教育的なメリットが多そうだ。

- ・教育的にも小中の連携はメリットが多そうに感じる。

学校施設を共有できる点でもメリットが大きい。

- ・学校施設を共有できる点からも小学校と中学校の複合化はメリットが大きい。

プールを無くして敷地を確保してはどうか。

- ・プールをつぶして敷地を確保する案があるのではないだろうか。

今後部活動が廃止され外部サークルなどに委ねると、更に駐車場ニーズが高まる。

- ・部活動が廃止され、外部サークルなどに委ねていくことも考えると、学校の駐車場ニーズは今後ますます高まると考えられる。いずれの案になっても、十分な広さを確保することを検討する必要がある。

適正規模にある小学校と中学校を敢えて複合化する必要はないのではないか。

- ・適正規模にある小学校と中学校を敢えて複合化する必要があるか？疑問が残る。

<保育園と小学校の複合化>

小学校入学時の心理的なハードルを下げる効果もある。

- ・保育園と小学校を複合化させることで、保護者の送迎が楽になるというメリットの他に、入学時の心理的なハードルが下がるなども考えられる。

教育的な効果は小学校と中学校の複合化よりも低いのではないか。

- ・保育園と小学校は保護者の送迎のメリットはありそうだが、教育的な効果は小中連携よりも低いのではないか。

<支所跡地>

駅前の一等地なので駐車場の利用に留めるのはもったいない。

- ・支所跡地の利用については、駅前の一等地でもあるので駐車場の利用に留めておくのはもったいない。

立地がよいため、民間に売却し公共施設の整備費用に回すのはどうか。

- ・形原駅前の支所跡地は立地がよいので、民間に売却しそのお金を公共施設の整備費用に回すことなども考えられるかもしれない。

地元の会議ではロープ工業をテーマにした博物館を作るアイデアも出ている。

- ・地元住民による会議の中では、地元のロープ工業をテーマにした博物館を作ってはどうかという意見が出ている。

【各案について】

<A案>

保育園の駐車場確保で利便性が向上し、安全面も向上するだろう。

- ・形原中に中学校と保育園を一緒にすることで、特に保育園利用者による駐車場確保の利便性が向上することはよいと思う。駐車場が広ければ安全面でも向上するだろう。

小学生にとって現在の小学校の場所は通学にも最適している。

- ・現在の2つの小学校の位置が地区内から小学生が通学するのに最も適した配置になる。
(A、B、B1案共通)

自分の中学生時代をイメージすると、保育園と中学校の複合化は安全面で不安がある。

- ・保育園と中学校の集合は、自分の時の中学生をイメージすると安全面で不安がある。昔は中学校の廊下を自転車が走るという状況があった。(A、C、C1案共通)

<B 案>

保育園と小学校、児童クラブの複合は送迎や交流の面で評価できる。

- ・小学校と保育園がそれぞれ一緒になることは、送迎や交流などの面で評価できる。(B、B1 案共通)
- ・小学校と保育園、児童クラブが同じ敷地に配置されることは、子育て世代にはお迎えの面も含めて利便性が高くよいのではないか。(B、B1 案共通)

小学生にとって現在の小学校の場所は通学に最も適している。

- ・現在の2つの小学校の位置が地区内から小学生が通学するのに最も適した配置になる。(A、B、B1 案共通)

現在の形原小の敷地では駐車場の確保は厳しい。周辺敷地の購入も含めて、十分に検討する必要がある。

- ・小学校と保育園が複合するならば、駐車場スペースを確保することはかなり厳しいと考えられる。敷地外も含め、駐車場スペースを確保することが必要不可欠な付帯事項だ。(B、B1 案共通)
- ・周辺敷地の買い取りも含めて長い計画でしっかりしたものを作ってほしい。(B、B1 案共通)
- ・周辺地域の買収の可能性をしっかりと計画に入れてほしい。(B、B1 案共通)
- ・形原小敷地をなんとか拡張する方法はないか、ぜひ検討してほしい。(B、B1 案共通)

形原小の敷地拡充は、実際には難しいだろう。

- ・形原小の敷地確保は周辺環境をみても不可能ではないか。(B、B1 案共通)
- ・形原小敷地の隣接地を具体的に考えると、実際には拡張は困難かもしれない。(B、B1 案共通)

支所跡地を駐車場として活用する場合、形原小敷地と隣接しておらず、歩道のない道を経由するので使い勝手がよくない。

- ・支所跡地を活用する案もあるが、敷地が隣接しておらず歩道の無い道路を経由する必要があるため、使い勝手が良いとはあまり思わない。(B、B1 案共通)

形原小敷地における施設整備では、建物の立体化や施設配置についても十分に検討してほしい。

- ・小学校と保育園の建物を合築や立体化して効率的な敷地活用を工夫して、形原小敷地だけで十分にならないか検討してほしい。例えば、保育園を1階で、小学校は2階以上にするとか。地下駐車場を検討するとか。(B、B1 案)

<B1 案>

保育園と小学校、児童クラブの複合は、送迎や交流の面で評価できる。

- ・小学校と保育園が一緒になることも送迎や交流などの面で評価できる。(B、B1 案)
- ・小学校と保育園、児童クラブが同じ敷地に配置されることは、子育て世代にはお迎えの面も含めて利便性が高く良いのではないか。(B、B1 案)

小学生にとって現在の小学校の場所は通学に最も適している。

- ・現在の2つの小学校の位置が地区内から小学生が通学するのに最も適した配置になる。(A、B、B1 案)

形原公民館は避難所ではないので、形原中・形原小・形原北小に移転するのもよい。

- ・形原公民館は避難所になっていない為、形原中・形原小・形原北小に、移転するのもよいと思う。(B1、C1 案)

公民館の移転は、周辺住民に不安を与えるのではないか。

- ・公民館の移転は周辺住民に不安を与えるのではないだろうか。(B1、C1 案)

現在の形原小の敷地では駐車場の確保は厳しい。周辺敷地の購入も含めて、十分に検討する必要がある。

- ・小学校と保育園が複合するならば、駐車場スペースを確保することはかなり厳しいと考えられる。敷地外も含め、駐車場スペースを確保することが必要不可欠な付帯事項だ。(B、B1 案共通)
- ・周辺敷地の買い取りも含めて長い計画でしっかりしたものを作ってほしい。(B、B1 案共通)
- ・周辺地域の買収の可能性をしっかりと計画に入れてほしい。(B、B1 案共通)
- ・形小敷地をなんとか拡張する方法はないか、ぜひ検討してほしい。(B、B1 案共通)

形原小の敷地拡充は、実際には難しいだろう。

- ・形原小の敷地確保は周辺環境をみても不可能ではないか。(B、B1 案共通)
- ・形原小敷地の隣接地を具体的に考えると、実際には拡張は困難かもしれない。(B、B1 案共通)

支所跡地を駐車場として活用する場合、形原小敷地と隣接しておらず、歩道のない道を経由するので使い勝手がよくない。

- ・支所跡地を活用する案もあるが、敷地が隣接しておらず歩道の無い道路を経由する必要があるため、あまり使い勝手が良いとは思わない。(B、B1 案)

形原小敷地を利用する場合、建物の立体化や配置についても十分に検討してほしい。

- ・小学校と保育園の建物を合築や立体化して効率的な敷地活用を工夫して、形小敷地だけで十分にならないか検討してほしい。例えば、保育園を1階で、小学校は2階以上にするとか。地下駐車場を検討するとか。(B、B1案)

災害対策のために公民館を移転するならば、耐用年数まで待たずに早くやるべきだ。

- ・公民館を移転することが災害対策になるというのであれば、耐用年数まで待つのは理屈に合わない。もっと早くやるべきだ。(B1、C1案共通)

将来的な公民館の移転は、その時の地域の人たちで最終判断をすればよい。

- ・公民館の中学校への合築は、だいぶ先になるのでその時の地域の人たちで最終判断をすればよい。

公民館を移転する案ではより大きな駐車場が必要であり、駐車場の確保が叶わなければ、利用促進も期待できない。

- ・交流が促されることで利用が増えると、より大きな駐車場が必要になる。駐車場の確保ができなければ、利用促進も期待できない。(B1、C1案共通)

<C案>

教育の形態については十分に議論が必要。9年間の義務教育学校の場合、中学校から合流する形原北小の子どもは不公平になるので支持できない。

- ・小中一貫教育については、“導入の方向性”は特に異論はないが、“教育の形態”は十分な議論が必要。特に9年間一人の校長の下で行う“義務教育学校”は途中から編入してくる形北小の子どもたちは不公平になるかもしれないので支持できない。(C、C1、D案共通)

自分の中学生時代をイメージすると、保育園と中学校の複合化は安全面で不安がある。

- ・保育園と中学校の集合は、自分の時の中学生をイメージすると安全面で不安がある。昔は中学校の廊下を自転車が走るという状況があった。(A、C、C1案共通)

<C1案>

教育の形態については十分に議論が必要。9年間の義務教育学校の場合、中学校から合流する形原北小の子どもは不公平になるので支持できない。

- ・小中一貫教育については、“導入の方向性”は特に異論はないが、“教育の形態”は十分な議論が必要。特に9年間一人の校長の下で行う“義務教育学校”は途中から編入してくる形原北小の子どもたちは不公平になるかもしれないので支持できない。(C、C1、D案共通)

自分の中学生時代をイメージすると、保育園と中学校の複合化は安全面で不安がある。

- ・保育園と中学校の集合は、自分の時の中学生をイメージすると安全面で不安がある。昔は中学校の廊下を自転車が走るという状況があった。(A、C、C1案共通)

公民館の移転は、周辺住民に不安を与えるのではないか。

- ・公民館の移転は周辺住民に不安を与えるのではないだろうか。(B1、C1案共通)

形原公民館は避難所ではないので、形原中・形原小・形原北小に移転するのもよい。

- ・形原公民館は避難所になっていない為、形原中・形原小・形原北小に、移転するのもよいと思う。(B1、C1案)

形原北小に公民館など複合化する場合、周辺道路が狭く一方通行が多い。また、踏切が近く危ない。

- ・形原北小学校に公民館などを集合させる場合、周辺道路が狭く、一方通行が多い。一方通行の先の交差点は踏切が近く危ない。

敷地面において公民館や児童館の複合化が可能でも、施設が北に寄りすぎているため、地域のバランスを考えた方がよい。

- ・児童館・公民館を形原北小へ複合させることは、敷地的には可能でも、あまりに北に寄りすぎている。
- ・C1案は公民館の位置が北寄りに配置されるため現実的ではない。地域の情報発信の役割も持つ公民館は地域内のバランスを考えて配置した方がよい。

文化広場の一部を形原地区の公民館的な役割として使えるなら、形原北地区に公民館を配置することも考えることができる。

- ・今回対象施設ではない「文化広場」などの一部を形原エリアの公民館的役割として使えることが出来れば、形原北エリアに公民館を配置することも出来るかもしれない。

災害対策のために公民館を移転するならば、耐用年数まで待たずに早くやるべきだ。

- ・公民館を移転することが災害対策になるというのであれば、耐用年数まで待つのは理屈に合わない。もっと早くやるべきだ。(B1、C1案共通)

公民館を移転する案ではより大きな駐車場が必要であり、駐車場の確保が叶わなければ、利用促進も期待できない。

- ・交流が促されることで利用が増えると、より大きな駐車場が必要になる。駐車場の確保ができなければ、利用促進も期待できない。(B1、C1 案共通)

<D 案>

教育の形態については十分に議論が必要。9年間の義務教育学校の場合、中学校から合流する形原北小の子どもは不公平になるので支持できない。

- ・小中一貫教育の導入については、“導入の方向性”は特に異論はないが、“教育の形態”は十分な議論が必要。特に9年間一人の校長の下で行う“義務教育学校”は途中から編入してくる形原北小の子どもたちは不公平になるかもしれないので支持できない。(C1、D 案共通)

小学校と中学校が同一敷地になり、教育連携がスムーズになる。保育園の敷地に余裕ができ、環境が良くなる。

- ・形原小敷地を使うことで、保育園の敷地に余裕ができ環境が良くなる。小学校と中学校が一緒の敷地になることでスムーズになる。

形原小の敷地に余裕ができるので、コンビニやカフェなど駅前があると便利な施設を誘致できるとなおよい。

- ・形原小に保育園だと敷地に余裕があるので、コンビニやカフェなど駅前があると便利な施設を誘致できるとなおよい。

【その他の意見】

施設を複合化することで、施設の利用時間が長くなり人の出入りが増えたときに、安全性の確保が図られるだろうか。

- ・施設の利用時間が長くなり常に出入りが発生する状態になると、施設内の安全性の確保が図られるのか。

学校や保育園の先生など教育現場の方の声も十分に聞いて検討する必要があるだろう。

- ・学校の先生や保育士など、教育の現場にいる方々の声も十分に聞いて教育施設のあり方（広さや使い方）は検討する必要がある。

人口増加が期待されるエリアのことも考慮して施設配置を検討してほしい。

- ・今後の人口が増加することが期待されるエリア等のことも含めて、計画的に施設配置を検討してほしい。